

# 写楽 歌麿 北斎 広重



東洲斎写楽「中島和右衛門のぼうだら長左衛門と中村此盛の船宿かな川やの棧」/ 葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」  
喜多川歌麿「松葉楼装ひ」美を通ず風情 / 歌川広重「東海道五拾三次之内 四日市」

# 四大浮世絵師展

中右コレクション

会期 / 2012年6月2日(土) ~ 8月26日(日)

※会期中無休 但し、展示作品入替のため7月12日(木)と7月13日(金)は閉場

前期 / 6月2日(土) ~ 7月11日(水) 「写楽・北斎」 後期 / 7月14日(土) ~ 8月26日(日) 「歌麿・広重」

本展では、展覧会期を「前期」「後期」に分け、作品の総入替えを行いません

関連イベント / 講演会 講師 中右瑛(浮世絵収集家・国際浮世絵学会常任理事) 日時: 6月17日(日) 14時から

演題: 「写楽・歌麿・北斎・広重のミステリー」

■同時開催 2012年6月2日(土) ~ 7月11日(水) 第7回パラミタ陶芸大賞展  
2012年7月14日(土) ~ 8月26日(日) 森正陶展 — 歓喜する造形・50年の軌跡 —

開館時間 / 9時30分 ~ 17時30分 (入館は17時まで)

入館料 / 一般1,000円(4枚セット券3,000円) / 大学生800円 / 高校生500円 / 中学生以下無料

主催: 公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム

後援: 中日新聞社、NHK津放送局、三重テレビ放送、伊勢新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、シー・ティー・ワイ、ケーブルネット鈴鹿



— 申右コレクション —

# 四大浮世絵師展

浮世絵は江戸の生活全てを題材とし、当時流行の風俗、人気の役者、評判の美人、名高い名所風景を写してきました。版画という大量制作が可能で技法によって身近な芸術となり、江戸の人々に親しまれただけでなく、その芸術性の高さは早くから国際的にも評価され、斬新な構図や色彩、的確で簡潔な描写は、ゴッホやルノワールなど印象派の画家たちに影響を与えました。本展は東洲斎写楽、喜多川歌麿、葛飾北斎、歌川広重の四大浮世絵師に焦点をあて、浮世絵の魅力に迫ります。今なお、豊かな表現力と色鮮やかな色彩で多くの人々を魅了してやまない浮世絵の世界、絵師の個性のぶつかりあいを存分にお楽しみ下さい。（会期を前期6月2日(土)～7月11日(水)「写楽・北斎」、後期7月14日(土)～8月26日(日)「歌麿・広重」とし、展示作品の総入れ替えを行います。）

# 写楽 歌麿 北斎 広重



葛飾北斎「富嶽三十六景 凱風快晴」



東洲斎写楽「嵐龍蔵の金貨石部金吉」



東洲斎写楽「中山富三郎の宮城野」



葛飾北斎「富嶽三十六景 尾州不二見原」



喜多川歌麿「教訓鏡の目鏡 俗二云ばくれん」



喜多川歌麿「遊鏡八契」



歌川広重「即興かけぼしし」



歌川広重「東都名所 両国夕すずみ」

## 次回展覧会予告

【会期】2012年8月30日(木)～10月10日(水)

### ■特別展 南都大安寺と観音さま展

大安町(三重県いなべ市)の町名の由来となった大安寺(奈良県)の名宝である馬頭観音立像や楊柳観音立像を東海園では初めて展示し、あわせて奈良、京都、大阪などの平安時代の観音菩薩をはじめ、愛知、岐阜の円空の観音菩薩の名品など約50点を展示します。

### ■同時開催 熊谷守一展 — 孤高の青空 —

岐阜県中津川出身の画家熊谷守一(1880～1977)の作品展です。描きたい絵だけを描き続けた気ままな人生にふさわしい奔放な画風。絵が描けない苦悩を乗り越えたゆえの和みの世界。その孤高の世界をお楽しみください。

paramitamuseum 公益財団法人岡田文化財団 パラミタミュージアム

〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6 Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077  
http://www.paramitamuseum.com E-mail:office@paramitamuseum.com



◆お車を利用される場合 東名阪四日市I.C.で降りて国道477号(湯の山街道)を湯の山方面へ約6.5Km

無料駐車場あり(普通車100台、大型バス駐車場)

◆電車を利用される場合 近鉄「四日市駅」下車、近鉄湯の山線に乗り換え約25分[大羽根園駅]下車、西へ300m

◆全館バリアフリー、車椅子準備

MAPCODE 56639095